

NA REPORT

ビフレンダースあいち 自殺防止センター設立記念フォーラム

感情に寄りそうことによる 自殺防止活動

去る6月4日、名古屋港湾会館第一会議室にてNPO 法人ビフレンダースあいち自殺防止センター(以下、あいち自殺防止センター)設立記念フォーラムが開催された。

日本におけるビフレンダースの創始者である西原由紀子氏(国際ビフレンダース東京自殺防止センター代表)より、創設の経緯と活動内容についての説明があった。国際ビフレンダースでは現在37か国で約3万1000人のボランティアが活動している。専門家ではない普通の人々による自殺防止のための電話相談はビフレンジングと名付けられ、「Be Friend」すなわち友となり、味方になり、助けることを目的としている。相談員の価値観をもって説得や説教を行なうこと、むやみに励ますこと、病気の診断をすること、経済的な支援を行なうことなどは一切せず、電話を通じて自殺したいほどのつらい気持ちを聴き、その心の叫びを受け止め、感情面での支援を提供することで、自殺防止を試みているのである。



電話相談を受ける岡山ミサ子氏



会場の様子

日本では、いじめなどによる自殺の低年齢化が問題となっていた1978年、大阪に自殺防止センターが設立された。その後、年間自殺者が3万人を超える社会情勢をうけ、東京、宮崎、熊野、岩手に自殺防止センターが設置された。日本で6か所目となるあいち自殺防止センターは、2011年2月より電話相談を開始した。当初電話番号は公開せず、ビフレンダース東京自殺防止センターの回線がっぱいになった際のみ案内するようにしていたとのことだが、活動開始当日から多数の相談が寄せられたという。

自殺願望者のフォロー 地域の非医療機関の活用を

東日本大震災から4か月が経過し、被災者の仮設住宅入居などが進んでいる。一人でいるとネガティブな感情は強まりがちであり、孤独感や将来への不安感などから自殺願望者の増加が懸念される。また、塞ぎこんでいるとき、家族や友人に話せればよいが、見知らぬ人のほうが話しやすい場合もある。

あいち自殺防止センターの電話相談は、自殺願望が強まりがちであり、医療機関などが空いていない毎週土曜日の深夜0時から午前4時に受け付けている。岡山ミサ子氏(あいち自殺防止センターディレクター・新生会第一病院看護部長)は、医療機関に電話番号を知ってもらい、自殺願望者のフォローをし、地域による支援を提供していきたいと述べる。記念講演「悲しみと生きなおす力」において柳田邦男氏(評論家・ノンフィクション作家)が語られたように、家族や近い者が自殺した場合、その事実を受け入れるのは容易なことではない。残された者としての自殺防止への思いを聞くにつれ、社会全体の問題として自殺防止のための地域連携を行なっていく必要性を考えさせられた。

ビフレンダースあいち 自殺防止センター電話相談窓口

TEL.0568-70-9090
(毎週土曜日深夜0:00～翌朝4:00)
問い合わせ:事務局携帯 090-3836-3061 E-mail nagoya@spc-aichi.org